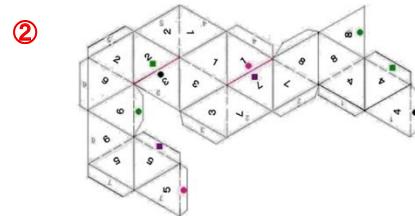


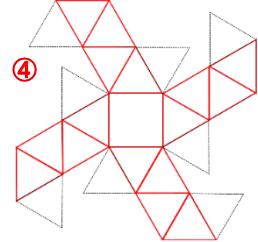
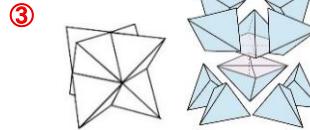
『タレスメソッド』の誕生秘話

ミカ：2019年「ナオキマンの369の秘密」を見る
パズルが好きなミカは、それを解きたいと思う
知人から「①マカバ」を教えてもらう



「タレスの三角定規」のルーツは『マカバ（星形八面体）』

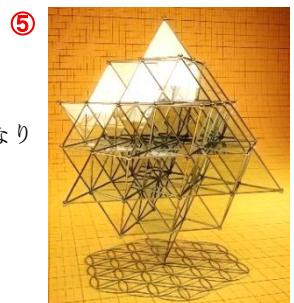
ミカ：マカバの展開図をHPで見つけた
②ヘビのように長く複雑で、作るのが難しかった
そこで、カヨに「マカバの展開図を作成して」と頼んだ



カヨ：星型ではなく立方体に見えたので、「半分に分割してもいい？」と聞く

③ピラミッドの斜面の正三角形に正四面体を付ければいいと判断し「④風車のような展開図」を作った

ミカ：⑤マカバを8個くっつけて、フラー・オブ・ライフ（メタトロンキューブ）を作りたい



カヨ：⑥マカバ8個をくっつけて作成

⑦マカバとマカバの間のくぼみが『ピラミッド型』で、「ピラミッド型を挿入すると平面」になり
「正八面体を挿入するとマカバとマカバのジョイント」になることに気づく

⑧ピラミッドを4分割してみたいと思い4分割の立体を作成（後に『直角正三角錐』と命名）

⑨できた4個の『直角正三角錐』の正三角形部分と、正四面体の正三角形部分をくっつけると
「立方体」ができた

⑩これらは手で持つことはできても、形を保つことができないので「透明な立方体」を作り入れる

⑪立方体の中にあるはずの正四面体が見えないので、角にある『直角正三角錐』を除けると、中学の数学に出てくる
「透明な立方体の中に、正四面体が入っているもの」になることを発見！（後に『タレス立方体』と命名）

⑫透明部分は、ピラミッドを4分割して作成したので、4個を合わせるとピラミッド型になることは既に把握済み

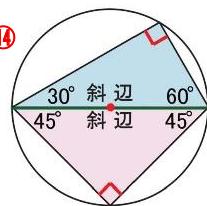
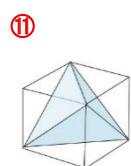
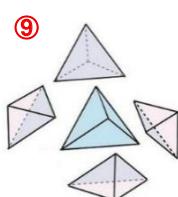
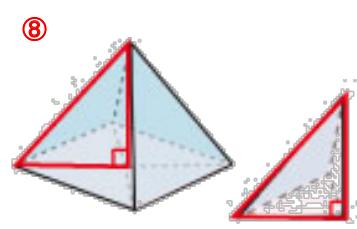
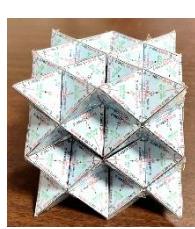
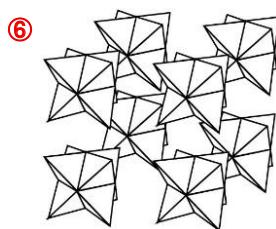
⑬『直角正三角錐』の直角二等辺三角形の角度と、正三角形を2等分にした直角半正三角形の角度が、現在の三角定規
セットの角度と同じであることに気づく。しかし、辺の組み合わせが現在の定規セットと違うので悩む

・様々な立体ができるのは何故なのか？あちらこちらの大学教授や小・中・高校の先生、有名YouTuberなどに聞く

⑭2024年4月、NHK『3か月でマスターする 数学』で「タレスの定理（円周角の定理）」を知る（カヨ）

⑮私たちの三角定規セットの斜辺と斜辺が同じ長さなのは『タレスの定理』を忠実に再現しているからと確信する
・その後、『タレスの定理』は「水戸黄門の印籠」のような役割になり、数々の発見と証明をしながら現在に至る

※『直角』と『半径』が大切で、『直角半正三角形の30度・60度・90度』は「宇宙3・6・9の秘密」かもと考えている



検索：タレスの直角三角形メソッド
<https://triangularrem3.com>

